

読者のひろば



読者の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。

高

校生のアイデアから生まれたお菓子「恋するカンパチ」！すばらしいですね。私の高校時代では考えられない事でした。今の若い人達が、世の中のこと、社会に貢献しているニューズなどを見ます。私たち高齢者にとって明るい出来事。鹿屋にとって未来の担い手になって下さい。(I・Tさん・女性)

「恋するカンパチ」誕生のきっかけは「尖ったお土産」をテーマに鹿屋市が昨年開いた政策コンテスト「かのや100チャレ」でした。カンパチとサツマイモを掛け合わせたお菓子を提案した東海大付属高輪台高校(東京)の作品が最優秀賞に選ばれました。この提案を受け、市では地元業者の協力を得て商品化を実現。材料も鹿屋の特産品を生かしたもので、規格外品を使用するなど「鹿屋らしさ」に加えて食品ロス削減にも配慮された素晴らしいお土産品となっています。

ア

アートディレクターのYOSHIROTTENさんの陸海空に及んだ作品の「SUN」の色彩の素晴らしさに見とれてしまいました。夢のかけ橋を毎朝見たくて、スクラップして、書籍の中に入れて満足しています。師走で忙しい中、穏やかな気分になるひと時です。ありがとうございます。(R・Yさん・女性)

YOSHIROTTENさんは、アートワーク制作やファッションブランドへのグラフィック提供などの分野でご活躍されています。昨年11月には、ユクサおおすみ海の学校で本市初の個展が開催され、色彩豊かな作品に多くの人が目を奪われていました。YOSHIROTTENさんは本市を「どの街にも負けない面白い街で、才能豊かで面白い若者が多い」と語りました。多くの若者が世界に羽ばたき、鹿屋に還元してくれることを願っています。

鹿

屋市民となり、早2年が経ちました。少しだけ地理が分かるようになりました。かのやばら園に2回行きましたが、バラの植え方も教えてほしいです。「バラからジャムを作る」。全国の皆さんに購入してもらいたいし、「鹿屋のばら園に来てね」とPRしたいですね。バラジャムを知ったのがMBCテレビで観ていたら、ばら園の紹介をされてました。(もう4年くらい前かな?)行かれた方が皆さん、手入れが行き届いていると話されています。スタッフの皆様のお陰です。ありがとうございます。(I・Sさん・女性)

かのやばら園をお楽しみいただきありがとうございます。バラの植え方については、一年を通したバラの栽培教室もありますが、1・2月は、バラの花を楽しむための堆肥(元肥え)を施したり、余計な枝の剪定、つるバラの誘引など、春バラを想像しながら、バラをリセットする大切な管理の季節になります。この時期のかのやばら園にも、ぜひ足を運ばれてみてはいかがでしょうか。バラの花は少ないですが、剪定の位置や誘引方法を直接見る事ができますし、春のガーデンとの違いを見比べ、春バラをより楽しめるかと思えます。ぜひバラ栽培にもチャレンジしてみてください。

私

も2年前の夏に東京から移住したので、移住者の方達の対談を興味深く読みました。私が思う鹿屋の良い所は、①美味しい食べ物があり、しかも安い!③道路沿いにバラが植えられている。④やさしい人が多い。反対に困った所は、特に高齢者の言葉がほとんどわからない。でも、方言は好きです!(ハタ坊さん・男性)

本市には美しい景色とおいしい食べ物、温かいご近所との交流がありますので、ぜひ鹿屋ライフを楽しんでください。お困りの方言ですが「単語の最後や後ろから2番目にアクセントが付く」「実は古語が語源」など実に温かみのある言葉です。広報かのや令和5年3月号(NO.412)に鹿児島方言の特徴などを紹介しています。ぜひ方言マスターになってください!

フォトネタ!



新川稲荷神社の迎春振舞い

地域の守り神を祭る新川稲荷神社では毎年、年越しの振舞いを神社世話会が行っています。ぜんざいやわたあめ、シシ鍋が振舞われ、多くの人で賑わいます。